2021

地元の魅力、再発見!

Rediscovering the Charm of Your Place

AD22 中井香月奈 指導教員 西野隆司

1. 研究目的

卒業研究を行うにあたって、良く理解し深く掘り下げて研究するためには、自分と関係のある題材の方がより中身の詰まった作品に仕上がると考え、まず自分と身近な関係であるものに注目した。身近なものとして、自分が生まれ育った故郷が、その土地の特徴や利点を肌で一番感じていると考え、「地元の魅力、再発見!」をテーマに研究することに決めた。

今回の研究では、作品を通じて地元の特徴や歴史、 伝統等の情報を共有し、地域の活性化を促すことが 目的である、このツールは、基本レイアウトを作ること によって研究モデルの岩槻だけに限らず、その他の 地域にも当てはめられるように設計している。

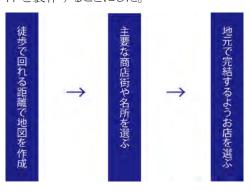
2. 調査内容(事前調査)

地元の魅力を伝えるためには、その街ができるまでの経緯や、歴史を知る事が重要だと考えた。まず初めの調査では、岩槻という街が出来た経緯や、街が発展するまでの歴史について調べた。岩槻では、岩槻城の築城によって街が賑わったこと、その影響で、人形や催事等の伝統が生み出されたこと等が挙げられる。

また、地域振興の事例を調べたところ、47 都道府 県それぞれの土地に長く続く「個性」や「らしさ」をデ ザイン的観点から選びだして観光ガイドとしてまとめ た「d design travel」の取り組み方が今回の研究と共通 していることが分かった。

3. コンセプトおよびアイディア展開

調査内容でも触れた観光ガイド「d design travel」は使い捨てにならず、長く使用できる観光ガイドを制作しているという特徴がある。この点に注目し、地元愛の構築をコンセプトにタウンガイドの制作をすることにした。そして、タウンガイドの構成を考える際、ユーザーが読みやすい様、以下の図のような流れでタウンガイドを製作することにした。



4. 最終提案(作品)

形状は冊子で大きさは持ち運べる A5 サイズにした。 レイアウトは、それぞれの地域の年齢層に合わせて 制作する。岩槻の場合、70代を中心に高齢者が多い ため、文字サイズに配慮するのと、ファミリー層も多い ことから、イラストや簡単な説明を加えることで子供に も分かりやすい内容にした。掲載内容に関しては、 【①タウンガイドの説明②歴史(風土や街の成り立ち も合わせて)③催事④地図⑤名所⑥店⑦癒しスポット ⑧メモ欄】の順序で構成している。最初にタウンガイド の説明を読んで中身を理解し、続いて街の基盤とな る情報を入れ込み、地元への理解を深める。そして、 地図を用いて、外へ出かけ、地元を楽しむ。気になる 場所やお店があれば、メモに書き込んだり、子供なら 絵を描いてみたりすることができる。 実際に手に取 って使用することにより、地元愛を育み、地域を活性 化に繋がる内容とした。

5. 今後の発展

タウンガイドを制作する際、基本レイアウトがあるので、それぞれの地域に合わせて作ることができる。ゆえに、シリーズ化していくことも可能ではないかと予測する。



文 献

http://www.d-department.com/jp/d-design-travel 著者名,"題目,"掲載雑誌,巻,号,pp.参照開始ページ -終了ページ,月年(Jan.2003)